

先進農家の視察を通して経営者能力の向上を図る

～令和5年度 第2回青年農業者等スキルアップ研修の開催～

千葉農業事務所改良普及課 令和5年12月21日発

近年、千葉地域ではいちごを営農品目とする新規就農者が増えています。そこで農業事務所では、知識・技術の習得や農業者同士の交流による経営の早期安定化を目的に、いちご生産者を対象とした青年農業者等スキルアップ研修を開催しています。12月13日に開催した第2回研修では7名が参加し、6次産業化や環境制御技術の活用に取り組む先進農家2戸を視察しました。1か所目の視察先では、カフェや直売所の経営に加え、有名洋菓子店へいちごを卸すなど、販売チャンネルを多く持つことの重要性や、加工品販売による経営改善効果を学びました。次の視察先では、モニタリング装置等を使った環境制御技術や、花芽分化を促進する夜冷処理について学びました。会場では、経営や栽培方法等について活発な意見交換が行われ、「ブランド化の進め方と展開方法が勉強になった」、「近年の異常気象を受けて作業時期の見直し等改善を図りたい」といった感想が聞かれました。



直売所では販売方法やブランド化について様々な質問や議論がありました。



ほ場では栽培方法や今年の生育状況について活発な意見交換がありました。